

低分子化ポリフェノールの 抗酸化作用を生体内で実証



- アミノアップ化学との共同研究 -

トレーニング前・中・後のデータを取得

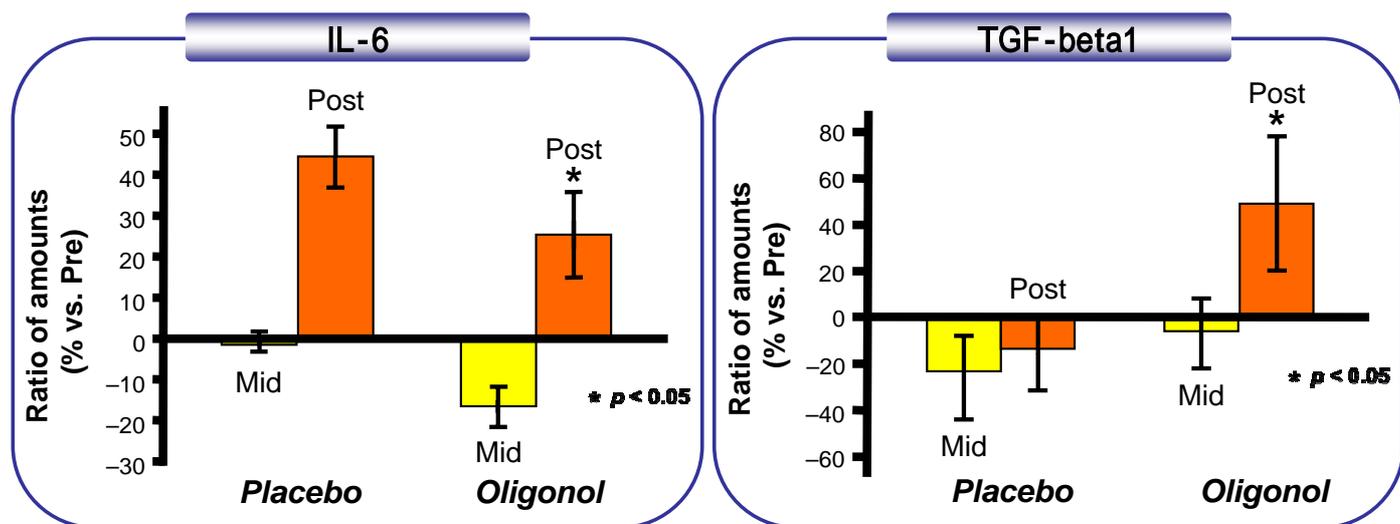
「オリゴノール」は生体への吸収が低いとされるポリフェノールを、生体吸収率の高いオリゴマーへ変換した世界初の低分子化ポリフェノールである。細胞レベルの実験では、抗酸化作用があり炎症や細胞障害の防止に効果があることがわかってきたが、本研究では生体内での効果を確認した。

長距離陸上選手を、ランダムに「オリゴノール」を摂取するグループと偽薬を摂取するグループに分け、2カ月のトレーニングの前・途中・後に血液を採取してさまざまな検査を行い、次のような結果が得られた。

「オリゴノール」を摂取したグループは、白血球数については有意な差が見られた。

血清中のインターロイキン6 (IL-6、炎症に関わる因子)のトレーニング前とトレーニング中の変化は、「オリゴノール」を摂取したグループの方が小さかった。

形質転換因子 (TGF-β、細胞増殖に関わる因子)のトレーニング前と後の間の変化は、「オリゴノール」を摂取したグループの方が大きかった。



炎症や組織細胞障害への抑制効果が明らかになる。

上記の実験により、「オリゴノール」は、激しい運動によって引き起こされる炎症や細胞障害を抑制する効果があることが明らかとなった。

「オリゴノール」は(株)アミノアップ化学の登録商標です。